

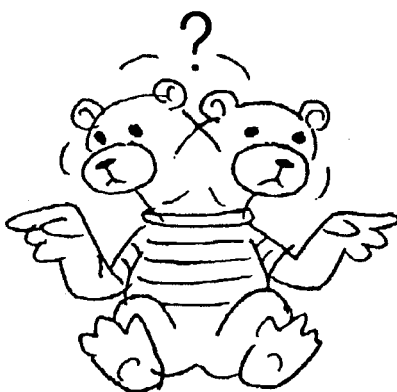
1) くまさんは多い方が欲しいけど、まだ数を知らないよ。
 2) 線で1対1対応に気づかせるのが最善だが、そうなら
 ない場合は、ピスケットを段階的に与える。
 3) 納得できるまで試行し、不等号置いて仕上げ。

a) 1対1対応による多少の論理的判断。
 「まんば」「あまり」などの表現で、出た方が多いことを納
 得させていく、そのプロセスが過程である。
 b) 不等号の使用を物の大小から数の多少に拡大。

Date /
 Note
 評



どっちがおおいか、
 クマさんにも
 わかるように
 してあげよう。



クマさんは
 かずをしらないよ。

